# 鹿児島市立病院だより

撮影　美園俊明副院長


・病院長　新年度の挨拶
・薬剤科部長就任のご挨拶
・内科　新任医師を迎えて
・泌尿器科　新任医師を迎えて
・新任医師紹介
・初期臨床研修医10年の歩み
・新人看護師を迎えて
・リハビリテーション技術科の紹介
・医療連携室　室長就任の挨拶
・外来診療案内



病院広報・医療連携誌
平成２５年５月　第14号

# 新病院建設の槌音を聞く中で

鹿児島市立病院長
上津原　甲一

爽やかな新緑の季節を迎え、皆様には益々ご清祥の事と存じます。
日頃から、医療連携に関しましては、多大なご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

年々歳々花相似たり、歳々年々人同じからずでは有りませんが、今年は特に41年の長きにわたって勤務して頂いた、当院の看板でもあった女医の蔵屋先生が定年退職となり、春爛漫と咲き誇る花々の中でも、一抹の寂しさは隠しきれません。

ところで、皆様のご協力で運営出来ていたドクターヘリも、大きなトラブルも無く、早いもので要請回数が無事1000回を超えました。これに加え念願のドクターカーの導入も決まり、来年度より運行予定です。この両者が揃う事によって、救急の新しい夜明けを迎える事が出来そうです。さらに桜島の大正元年大爆発から100年を迎え懸案であった災害時の応援体制も、４月26日に九州８県の公立病院の院長先生方の協力でタッグを組み、災害時支援協定を結ぶ事が出来ました。

これも皆様の医療連携を始めとしたご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

また昨年の９月からはじまった新病院の建設も、急ピッチで進んでおります。液状化対策としての約20mの長さの砂杭2861本、次いで約60mの深さまで直径約1.8mの鋼管コンクリート杭132本の杭打ちも終り、現在次の免震工事に取り組んでおります。夏には鉄骨の骨格も姿を現すでしょうし、平成27年１月には完成予定です。病院本体の建物以外にエネルギーセンター、保育園を別棟に設け、玄関前には緑に包まれた650台近く収納可能な駐車場が、裏には約１万平方メートルの緑地公園が加わります。

建設の槌音を聞く中での25年度となっておりますが、昨年７月に始めた院外処方も御陰さまで軌道に乗り、77％を超えるまでになっております。本年度は「安心、安全な質の高い医療の提供」を旗印に、診療の３本柱として①救急医療 ②周産期医療 ③癌治療のさらなる充実に取り組んでいます。これに向けて今後医師10名の増員を大学のご協力で行う事が出来ることになりました. 大学には深く感謝しております。またこの４月より看護師の増員により７：１看護体制を採る事もできました。

今年のもう一つの取り組みとして、当院の役割分担としての高度専門医療に専念すべく、外来を出来るだけ縮小し、紹介患者さん中心の外来への移行と、入院加療の充実を掲げています。一般外来の患者さんは出来るだけ、掛かり付けの先生方にお願いし、２次, ３次の医療を必要とする患者さんをご紹介頂けたらと考えております。

最後に日頃のご支援、ご協力に深く感謝申し上げますと共に、ご協力よろしくお願い致します。

# 薬剤科部長就任ご挨拶

鹿児島市立病院　薬剤科
部長　山口　辰哉

この度、４月１日付けで薬剤科 部長に就任いたしました山口辰哉でございます。

就任後、まだ４週間余りですが、環境の変化に戸惑っているところであります。

今、市立病院は、新病院移転や電子カルテの導入など大きな変革を迎えております。

この大きな変革のなかに、薬剤科　部長を務める責任の重さに身の引き締まる思いでございます。微力では、ありますが、皆様のご協力とご支援を賜りながら務めていきたいと存じます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、医療環境の変化に伴い、薬剤師の業務、期待される役割も大きく変化してきました。平成22年４月付け厚労省医政局通知「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」の中に、「医療技術の発展とともに薬物療法が高度化しているため、医療の質の向上及び医療安全の確保の観点から、チーム医療において薬剤の専門家である薬剤師が主体的に薬物療法に参加することが非常に有益である」と明記されました。また、平成24年度の診療報酬改定では、「病棟薬剤業務実施加算」が新設されました。これは薬剤師の病棟業務が「薬剤管理指導料」とは別に入院基本料に加算（週１回100点）されることになり、算定条件として、これまでの薬剤管理指導業務とは別に、十分な時間（週20時間）を確保できる体制と病棟ごとの専任の薬剤師を配置することが求められております。

したがって今、病院薬剤師に求められていることは、入院患者さんのためのチーム医療への実質的な参画であり、かつ薬剤師病棟常駐による薬物療法の質の向上であります。これを実現すべく、鹿児島大学病院で34年間勤務した経験を活かし、市立病院の理念であります「安心安全な質の高い医療の提供」の実現に向けて真剣に取り組んで行く所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

# 内科新任医師を迎えて

内科
科長　　池田　賢一

４月１日より福岡忠博部長の後任として内科にて勤務させていただいております。

鹿児島大学卒業後第３内科（現在の神経内科・老年病学講座）へ入局し、現在まで鹿児島大学病院の他、国立指宿病院、鹿児島市医師会病院などにて勤務してまいりました。内科の中でも神経内科、感染症を中心とした診療を行って参り、鹿児島大学病院におきましては、医学科学生および研修医への指導教育の業務も担当して参りました。

鹿児島市立病院は、ご存じの通り救命救急センターのある急性期病院でございます。

その中で神経救急といたしましては、髄膜炎・脳炎などの神経感染症、ギラン・バレー症候群や多発性硬化症などの神経免疫疾患、意識障害を呈する様々な原因の患者様などへの救急対応に特に力を入れていきたいと考えております。また、外来診療におきましては、地域でご活躍されている先生方が診断などでお困りの症例を気軽にご紹介いただけるような診療体制を積極的に構築して参りたいと考えております。ALSや脊髄小脳変性症などの神経難病、またこれから増加の一途と言われております認知症などの診断加療に関しましても、積極的に関わりつつ、地域の医療機関の先生方と病病連携あるいは病診連携をさせていただきながら診療に当たらせていただければと考えております。また、不明熱など診断がなかなかつかない症例に関しましても、当科で扱うことが多くなっております。旧第３内科の教えである「わからない、治らない（最近は治るものも結構ありますが）、でもあきらめない」という精神で積極的に診療に当たって参りますので、ご紹介を賜れれば幸いです。

当院は臨床研修病院であり、現在も計30名以上の初期研修医が日夜研鑽を積んでおります。研修医への指導を行っていく中で我々の中にも「気付き」があり、共に向上していけることはこの上ない喜びであります。研修医が明るく楽しく学べる環境作りに努めながら、臨床の楽しさ、内科の面白さを伝えていければと考えております。

当院の内科は、鹿児島大学の神経内科、呼吸器内科、糖尿病内分泌内科、血液膠原病内科の各講座から医師が派遣されている混合部隊です。現在の内科のメンバーは、比較的年齢が近いこともあり和気藹々とした雰囲気で業務に当たっております。地域でご活躍されていらっしゃる先生方のお役に立てるように、内科スタッフ一同一生懸命努力して参りたいと存じますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

# 泌尿器科新任医師を迎えて

泌尿器科
科長　五反田丈徳

12年間勤務された萱島恒善先生の後任として、平成25年４月１日赴任いたしました。

鹿児島市立病院は平成16年に人工透析担当として１年間勤務しておりましたので、今回９年ぶりの勤務となります。平成９年に鹿児島大学泌尿器科に入局、その後、市立病院、新村病院、肝属郡医師会立病院、神奈川の東海大学医学部附属病院で勤務し、鹿児島大学で病棟の診療に従事してきました。

専門分野は尿路上皮がんの血管新生です。がんができるとそこに栄養を送るために新しい血管がどんどん作られていきます。その血管を作る物質（血管新生因子）について大学で研究をしていました。泌尿器科いうと「膀胱や尿道の病気」というイメージがあります。確かにそうなんですが、小さいお子さんから高齢者の方まで見ますし、前立腺肥大、尿失禁のような良性の病気から、腎臓や前立腺のがん、慢性腎不全など様々に扱い、非常に幅広い分野といえます。

鹿児島市立病院は、救急センター、ドクターヘリなどの設備も整った鹿児島の中核を担う病院です。様々な疾患の方が来院され、非常にやりがいのある職場で大変うれしく思います。また、泌尿器腹腔鏡手術の先駆者である、東海大学寺地教授の下、研鑽を積み、この技術を患者さんに還元したいと思っています。

現在泌尿器科は、新しいスタッフに代わり、そのうち医師２人は、大学時代ラグビー部で一緒に汗を流した仲間でもあり、体育会系のメンバーが揃っています。この二人も腹腔鏡技術認定医であり、高いレベルの医療を提供できるものと自負しております。新たな気持ちで、鹿児島市立病院の特徴でもある患者さんに応じた様々な医療、チーム医療を実践して行きたいと考えております。

そして将来的には、ロボットによる手術や腎移植の件数増加を目指していくことが目標です。不慣れな点が多く、多々御迷惑をおかけすると思われますが、ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

# 新任医師を迎えて

科名　内科科長
氏名　濱崎　哲郎

４月よりお世話になることになりました内科の濵﨑哲郎と申します。専門は呼吸器内科です。先月までは鹿児島大学病院呼吸器内科に勤務していました。鹿児島市立病院での勤務は、医師になって１年目の時に６か月間研修して以来になります。十数年経っていますが、そのころと変わらないところも多く、懐かしい感じもあります。いろいろとご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、内科の一員として、またICTのメンバーの一員として頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

科名　新生児科科長
氏名　鳥飼　源史

４月より総合周産期母子医療センターに赴任いたしました鳥飼源史と申します。平成11年と21年に引き続き、今回で３回目の市立病院勤務となります。前回勤務時と異なっていることは、市立病院にドクターヘリが導入されていたことと、もう一つは、個人的なことになりますが加齢による体力の衰えです。当直の時にヘリに乗ることがあるかも知れません。スタッフの皆様や患者様にご迷惑をおかけしないよう、体力増強にも励みたいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

科名　泌尿器科医長
氏名　松田　良一郎

４月より泌尿器科兼透析担当医師として勤務させていただいております。12年前にも務めておりましたので、今回２回目の着任です。一般泌尿器疾患および、入院治療が必要な維持透析患者さんについて担当させていただきます。ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

科名　内科科長
氏名　川田　英明

４月１日付で内科に赴任いたしました川田英明と申します。前年度まで、鹿児島大学の血液膠原病内科に10年間勤務しておりました。専門は、血液と造血幹細胞移植とリウマチ膠原病です。両分野は、腫瘍と炎症の分野であり、造血幹移植に関しては、抗がん剤による化学療法と免疫療法が、大変重要な２本の柱であり両分野にまたがる治療であり、大変興味深く行っておりました。鹿児島市立病院では、造血幹細胞移植に関しては、まだ施設条件として難しいですが、今後　移転後には、実現可能です。今は、血液疾患に対する抗がん剤治療とリウマチ膠原病患者に対する免疫療法を微力ながら邁進したいと思っておりますので宜しくお願いします。

科名　心臓血管外科医長
氏名　峠（たお）　幸志

４月より心臓血管外科にまいりました。‘とうげ’と書いて‘たお’と読みます。今後は手術症例の拡大を行い平成27年の病院移転を機に開心術をスタートできるよう準備を整えていく予定です。皆様にはご協力をお願いすることと思いますがどうぞよろしくお願いいたします。

科名　小児科
氏名　中川　俊輔

昨年４月からお世話になっておりましたが、今年の４月からスタッフになりました。今年で５年目になりますので、今まで以上に頑張りたいと思います。今後とも宜しくお願い申し上げます。

科名　循環器科
氏名　加治屋　崇

４月より約４年ぶりに赴任しました加治屋と申します。約４年間、海外で研究、臨床に従事してきたため、不慣れな点もありますが、地域の医療を支えるお手伝いができるよう努力したいと思いますので、宜しくお願いいたします。

科名　循環器科
氏名　尾辻　秀章

平成25年４月１日より勤務させて頂いております尾辻秀章と申します。平成18年以来の赴任となりますので、不慣れな部分が大いにあるかと思いますが、何卒宜しくお願い致します。

科名　脳神経外科
氏名　田中　俊一

平成25年４月から赴任いたしました脳神経外科の田中俊一と申します。平成18年４月から平成20年３月まで鹿児島市立病院で初期臨床研修医として学ばせて頂いており、スタッフとして働くのは今回が初めてとなります。ご迷惑をおかけすることが多々あるとは存じますが、地域医療機関の先生方、皆様のご指導を頂ければと存じます。

科名　脳神経外科
氏名　比嘉　那優大

平成25年４月より脳神経外科へ着任しました比嘉　那優大と申します。平成21年から２年間、市立病院で初期臨床研修を行い、再び市立病院で勤務できることを非常に嬉しく思います。チーム医療の一員として地域医療に貢献していきたいと思います。素晴らしい上司とスタッフに囲まれ、仕事ができる環境に感謝します。今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

科名　麻酔科
氏名　安藤　美佐子

初めまして。４月から勤務させていただいています。当院は初めてで慣れないことも多々ありますが、少しでもお役に立てるように、と思いながら出勤している毎日です。どうぞよろしくお願いします。

科名　麻酔科
氏名　大宮司　明子

こんにちは。３度目の市立病院勤務となります。前任地は奄美の大島病院でした。１回目はぺえぺえ時代、２回目は成長期、３回目のいまもまだまだ成長期ですが、みなさんのお役に立てるようにがんばりますので、またまたよろしくお願い致します。

科名　新生児科
氏名　佐藤　恭子

平成18年初期研修医として当院にお世話になり、はや７年が経ちました。後期研修を終了しこの度、正職員として勤務させて頂くことになりました。今後ともがんばります。どうかよろしくお願いいたします。

科名　産婦人科
氏名　古郷　有佳子

平成20年11月より産婦人科にてお世話になっております。育休復帰後であり、色々な方にお世話になりながらですが、少しずつがんばっていくつもりですのでどうぞよろしくお願いします。

# 初期臨床研修医10年の歩み

鹿児島市立病院副院長
美園　俊明

平成16年に開始された初期臨床研修医制度は、本年で10年となりました。本院の研修医定員枠は平成16年から21年までが12名、平成22年以降は16名となっております。この間の一期生から十期生までの研修医は計122名に達しています。北は東北大学から南は琉球大学まで全国31大学の卒業生からなりますが、その多くの研修医が鹿児島県出身であり本県内に将来も留まってくれるであろうと期待される方々です。鹿児島大学出身者が鹿児島県出身とは限りませんが、大部分が本県出身者であることには違いがありません。マッチングについては、平成23年度だけがフルマッチしませんでした。フルマッチしても、その後に卒業試験や国家試験の難関が控えていますので定数どおりではありません。

出身大学の内訳は、**表１**に示すように、国公立大学出身者が104名です。最も多い鹿児島大学出身者が67名で、他大学が37名です。鹿児島大学以外の出身者が同年度に複数名になることは大変少なくなっております。

| | H16 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 鹿児島大学 | 3 | 3 | 6 | 4 | 9 | 7 | 11 | 7 | 7 | 10 | 67 |
| 島根医科大学 | 1 | 3 | | | 1 | | | | | | 5 |
| 琉球大学 | | 2 | 1 | | | | | 1 | 1 | | 5 |
| 佐賀医科大学 | 1 | | | | | 1 | | | 2 | | 4 |
| 九州大学 | | | | | | 1 | | | 1 | 2 | 4 |
| 熊本大学 | 1 | | | | 1 | 1 | | | | | 3 |
| 広島大学 | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | 3 |
| 宮崎大学 | | | | 1 | | 1 | | | 1 | | 3 |
| 大分大学 | | | | 1 | | | 1 | | | | 2 |
| 香川医科大学 | 1 | | | | | | | | | | 1 |
| 高知大学 | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 大阪市立大学 | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 愛媛大学 | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| 東京大学 | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| 山口大学 | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| 長崎大学 | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 東北大学 | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 計 | 7 | 9 | 9 | 8 | 11 | 11 | 13 | 8 | 14 | 14 | 104名 |

表１　初期臨床研修医出身大学・年度別一覧（国公立大学）

| | H16 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 産業医科大学 | 1 | | | | 1 | | | 1 | | | 1 |
| 久留米大学 | | | 1 | 1 | | | | | | | 2 |
| 愛知医科大学 | | | | | | | 1 | | 1 | | 2 |
| 帝京医科大学 | 1 | | | | | | | | | | 1 |
| 岩手医科大学 | 1 | | | | | | | | | | 1 |
| 藤田保健衛生大学 | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| 日本大学 | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| 順天堂大学 | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 東海大学 | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 慶応大学 | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 川崎医科大学 | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 近畿大学 | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| 福岡大学 | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| 東京医科大学 | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 計 | 3 | 2 | 3 | 3 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 18名 |

表２　初期臨床研修医出身大学・年度別一覧（私立大学）

**表２**に、14の私立大学からの18名の研修医について示しています。このように出身大学数が多いことは後輩への道標となり得るため、今後の研修医獲得に大きな希望を抱かせる結果と考えております。

**図１**は、男性医師と女性医師の頻度を年度別に表したものです。平成20年に男女数が並び、平成21年には男女が逆転しました。しかし、今年度は男性13名に対して女性２名と大差がありました。

図１　初期臨床研修医数男女別推移

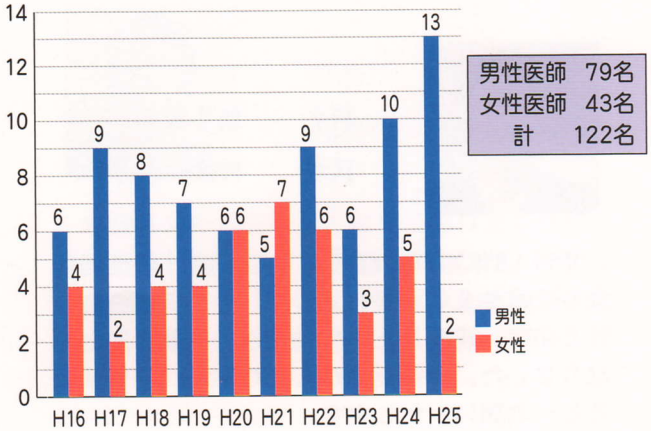


**表３**に初期臨床研修終了後の進路について示しています。平成23年の研修医までの８年間に92名が巣立ちました。鹿児島大学医局への入局が55名（59.８％）で最も多く、当院の後期研修医として残留が18名（19.6％）、育児休職を含め県内外の他の施設に進む人が19名（20.6％）です。県外の施設で後期研修を選んだ人にも、県内出身者がいるため、再び故郷の医療に貢献するための高貴な意志に燃えての結果であろうと考えています。選択した進路の先が理想のものであることを願ってやみません。

| | 鹿児島大学病院入局 | 後期研修市立病院 | その他の施設 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 平成16年度（第一期生） | 5 | 3 | 2 | 10名 |
| 平成17年度（第二期生） | 6 | 2 | 3 | 11名 |
| 平成18年度（第三期生） | 6 | 3 | 2 | 12名 |
| 平成19年度（第四期生） | 5 | 2 | 4 | 11名 |
| 平成20年度（第五期生） | 7 | 3 | 2 | 12名 |
| 平成21年度（第六期生） | 9 | 1 | 2 | 12名 |
| 平成22年度（第七期生） | 9 | 4 | 2 | 15名 |
| 平成23年度（第八期生） | 8 | 0 | 1 | 9名 |
| 計 | 55（59.8%） | 18（19.6%） | 19（20.6%） | 92名（100%） |

表３　年度別初期臨床研修医終了後の進路

| | 鹿児島大学病院 | 鹿児島市立病院 | 他施設 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 外科系 | 19 | 4 | 4 | 27 |
| 内科系 | 18 | 0 | 5 | 23 |
| 産婦人科 | 0 | 6 | 3 | 9 |
| 小児科 | 8 | 0 | 0 | 8 |
| 麻酔科 | 3 | 1 | 0 | 4 |
| 周産期センター | 0 | 4 | 0 | 4 |
| 放射線科 | 3 | 0 | 0 | 3 |
| 眼科 | 1 | 0 | 2 | 3 |
| 救急センター | 0 | 1 | 2 | 3 |
| 皮膚科 | 2 | 0 | 0 | 2 |
| 泌尿器科 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 耳鼻咽喉科 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 病理科 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| ローテート研修 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 不明 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| 計 | 55 | 18 | 19 | 92名 |

表４　研修医の進路

さて、近年の研修医の将来の選択という観点から、巣立った全研修医92名の一覧を作成したのが**表４**です。最も多いのが外科系の27名で、続いて内科系の23名です。産婦人科や周産期センターの13名も少なくありません。また、小児科も8名と健闘しております。

すなわち、最近入局者が少ないとメディアを騒がせ、学会でも異例のテーマとなったと聞く外科系他が、決して少ない数ではありません。当院の研修医の傾向なのでしょうか。救急科も選択者が増えつつあるようですが、これは、ドクター・ヘリの魅力も一役かっているかも知れません。いずれにしても、悲観的な傾向は無いと考えています。どの診療科も重要で、一瞬で育てられない医療の世界には屋根瓦形式の先輩後輩が必要です。現在も二学年で30名の研修医が日夜悪戦苦闘しておりますが、バランス良い配分で専門領域を決定されんことを願っております。皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。

# 新人看護師を迎えて

副総看護師長（教育担当）
園田　良子

今年度看護科は、新人看護職員53名迎え、約700名の看護師等が勤務する大きな組織になり、一般病棟は患者さん７人に対して看護師等１人が勤務する「７対１看護師配置」を導入することになりました。新任者教育では、急性期医療を担うチームメンバーの一員として活躍できるよう、必要な基礎的臨床実践能力習得を目標に教育プログラムを企画しています。

研修内容は、接遇、『患者の安全と責務』として、①看護記録の概念と目的 ②中央材料室の役割および滅菌物の取り扱い ③医療情報に関する基礎知識・物品管理の基本、看護必要度、クリニカルパス概要 ④医療事故防止 ⑤感染管理 ⑥与薬に対する知識と基本的看護技術の習得 ⑦ＭＥ機器の取り扱いの８項目について５日間講義・演習を行いました。特に医療事故防止に関しては、医療事故防止の基本的知識と特性の理解、医療安全トレーニングによる危険予知・対策について事例検討を行いました。また、感染管理については、感染予防対策の知識の習得、手洗い・個人防護具着脱演習、基本的な看護技術の中から、静脈採血と注射の基本的手技の演習を行いました。

研修後のアンケート調査より「危険予知能力を高めていきたい」「基本に忠実に実践し、自分自身が感染経路にならないようにしたい」「ＤＶＤや実技があり分かりやすく楽しかった」などの意見が聞かれました。当院は、新人看護師１人に実地指導者１人を決めて、実地指導者を中心にチーム全員で新人看護師をサポートするチームサポート制を取り入れています。
新人看護職員研修風景、教育プログラムをご紹介いたします。

“　看護科 newface のみなさんです。よろしくお願いします。“

# 新採用時看護師研修プログラム（平成25年度）

| 月／日 | 4月1日 | 4月2日 | 4月3日 | 4月4日 | 4月5日 |
|---|---|---|---|---|---|
| 曜　日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
| 場　所 | 学術ホール | 学術ホール | 学術ホール | 学術ホール | 学術ホール |
| 8：30<br>9：00 | 集合<br>・看護部長挨拶<br>・病院概要<br>・看護科概要<br>・継続教育<br>目標管理<br>ラダー<br>成長記録の活用 | 講義<br>患者の安全と看護師の責務①<br>・看護記録の概念 | 講義<br>患者の安全と看護師の責務④<br>・医療事故防止 | 講義<br>患者の安全と看護師の責務⑥<br>・与薬の基礎知識 | 全職員研修 |
| 11：00 | ・自己紹介 | 講義<br>患者の安全と看護師の責務②<br>・中央材料室の業務と滅菌物の取り扱い | 演習<br>・医療事故防止 | 講義<br>患者の安全と看護師の責務⑦<br>・ＭＥ機器の取り扱い | 全職員研修 |
| 13：00 | 講義<br>医療の現状と看護師の役割 | 講義<br>患者の安全と看護師の責務③<br>・医療情報のあつかい方<br>・物品管理 | 講義<br>患者の安全と看護師の責務⑤<br>・感染管理<br>・職業感染防止 | 演習<br>・静脈血採血の方法と実際<br>・輸液ラインの作成<br>・６Ｒに応じた手順 | 全職員研修 |
| 14：10 | 講義 演習<br>接遇について | 講義<br>看護必要度<br>講義<br>クリニカルパス | 演習<br>・適度な手指衛生<br>・手洗いの実際<br>・マスク、エプロンの着脱法<br>・ゴミの分別 | 演習<br>・薬剤と注射器の取り扱い<br>・薬剤投与の方法 | 全職員研修 |

注射準備演習

排泄物処理演習

# リハビリテーション技術科の紹介

リハビリテーション技術科
主幹　　今村　孝憲

医療連携等におきまして各施設の方々には大変お世話になっております。今回は鹿児島市立病院リハビリテーション技術科について紹介させて頂きます。当院の特徴は「ドクターヘリ」の基地病院で高度な救急医療を提供する救命救急センター、総合周産期母子医療センター・脳卒中センター・がん診療連携拠点病院・小児救急拠点病院と言った高い専門性を持った機能を備え、診療科20科を擁する総合病院です。そのためリハビリテーション対象疾患も脳血管障害、交通外傷、新生児・小児疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、熱傷等と多種多様です。スタッフは平成25年１月から３月にかけて３名増員となり理学療法士６名、作業療法士３名、言語聴覚士２名の計11名になりました。施設基準は運動器リハビリテーション料Ⅰ、脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅱ、呼吸器リハビリテーション料Ⅰを取得しております。

リハビリテーション技術科スタッフ一同

リハビリテーション技術科の理念は「患者さんとの心のふれあいを大切にして・患者さんの立場に立って・患者さんのニーズに応えられるように努力し・患者さんに満足していただけるリハビリテーションを提供します」を掲げております。そのためリハビリスタッフは多忙な業務の中、学会・院内外の研修や勉強会等に出席しております。

また、各病棟のカンファレンス等において主治医や看護師及びコメディカルとの連携を密に図りながら、各自が高い意識を持ってチーム医療に臨んでおります。

5階病棟　整形外科　カンファレンス

新生児センター回診

平成25年３名の増員により、より活気あるリハビリテーション技術科に生まれ変わる機運も高まって来ております。平成27年新病院開設時には急性期病院としての責任を果たせる人材強化を図り、少しでも良い状態で患者を送り出せる環境を整える必要性を感じております。何よりも有能なマンパワーの確保は急務と考えております。

鹿児島市立病院リハビリテーション技術科はまだまだ発展途上の段階ではありますが、各施設との連携を深め、皆様と力を合わせてより良い医療の提供に貢献できるように弛まぬ努力を続けていきたいと思っております。今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

# 医療連携室　室長就任の挨拶

医療連携室
室長　友杉　哲三

さわやかな風がそよぎ、街路樹の新緑もあざやかで、すごしやすい季節となりました。病院周辺の甲突川河畔も整備され、いい散歩コースとなっています。

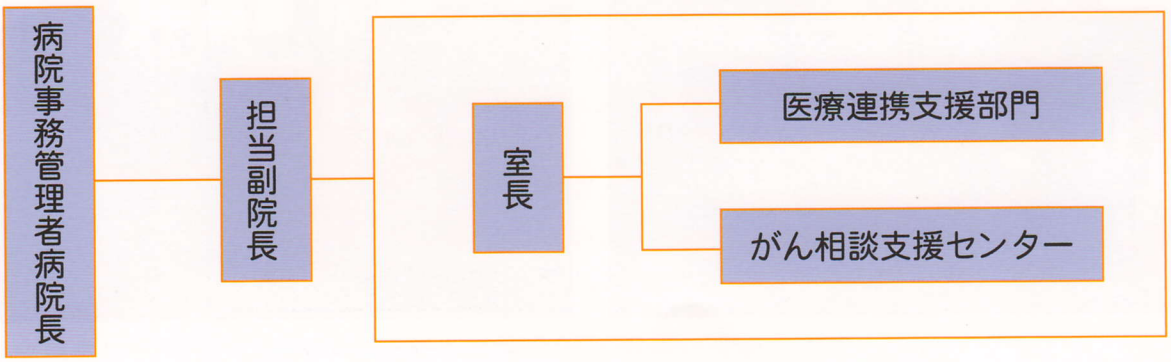
このたび、退職されました福岡先生の後任として医療連携室の室長に就任いたしました。脳卒中センターでも大変お世話になっております。医療連携室には、発足当初から在籍させていただいておりましたが、ここ数年ご紹介件数や転院件数、相談件数が増えてきております。皆様のおかげだと心から感謝しております。

| 紹介外来患者数 | 平成21年 | 平成22年 | 平成23年 | 平成24年 |
|---|---|---|---|---|
| 合計 | 12,881 | 13,754 | 13,916 | 14,534 |

| 紹介入院患者数 | 平成21年 | 平成22年 | 平成23年 | 平成24年 |
|---|---|---|---|---|
| 合計 | 4,532 | 6,571 | 6,932 | 7,479 |

当院の医療連携室は、医療連携支援部門とがん相談支援部門がありますが、４月より医師３名、看護師６名、MSW３名、事務員２名とスタッフを増やし更なる充実を図っております。

## 医療連携室の組織



従来の医療相談・患者紹介・退院転院調整・地域連携パス・がん相談・セカンドオピニオンなどに加え、認定看護師による新生児支援、小児の自宅退院後の相談や、ストーマや褥瘡の管理とセミナー開催など、また地域がん診療拠点病院として緩和ケア相談などいままで以上に積極的に活動していき医療の地域連携に貢献していきたいと考えております。

最近自宅に帰られることも多く、自宅退院後にも不安がないように、転院先やかかりつけの先生方支援相談員の方々とも十分に情報を共有していけるよう心がけております。行き届かないところも多々あると思いますがよろしくご指導くださいますようお願い申し上げます。

国は、医療・介護を地域で担うように推進しておりますので、今まで以上に地域医療連携の重要性が増すであろうと考えております。今後も顔のみえる医療を推し進めてまいりたいと考えておりますので、できるだけ多くの病院に訪問し協力関係を強くしたいと思います。メール、FAXからでもよろしいですからご意見ご要望をお聞かせください。

皆様方の地域連携支援病院となれますように頑張ってまいります。
医療連携室をよろしくお願い申し上げます。

**鹿児島市立病院だより　第14号**

発刊日：平成25年５月
発行者：〒892-8580　鹿児島市加治屋町20-17
　　上津原甲一　鹿児島市立病院長(事業管理者)
担　当：医療連携室・広報委員会
ＴＥＬ：099-216-3631
ＦＡＸ：099-216-3632
ＵＲＬ：http://www. kch. kagoshima. kagoshima. jp

この広報誌は、紙へのリサイクルに適した材料を用いて作成しています。

# 外来診療案内

★ 印の医師は、各診療科の部長となっております。　　平成25年5月1日付

## 内科

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 神経 | | ★ 池田賢一 | | 池田賢一 | 池田賢一 | |
| | | | 能勢裕久 | | | 能勢裕久 |
| | | | 林　大輔 | 林　大輔 | | |
| | | | | | 新名清成 | |
| 血液 | | 川田英明 | | 川田英明 | 川田英明 | 川田英明 |
| 呼吸器 | 初診 | | | | 籾　博晃 | |
| | | 濵　哲郎 | | 濵　哲郎 | | |
| | | | 新村昌弘 | | | |
| | | | | | | 坂上公太 |
| | 再診 | | 籾　博晃 | | | 籾　博晃 |
| | | | | | 濵　哲郎 | |
| | | | | 新村昌弘 | | |
| | | 坂上公太 | | | | |
| 糖尿病 | | 堀之内秀治 | 堀之内秀治 | | 堀之内秀治 | |
| | | | | 宇都　正 | | 宇都　正 |
| | | 中島雅恵 | | | 中島雅恵 | |
| | | | | | | 樋口ちひろ |

※　外来主治医制 をとっています。 ご紹介の場合は、診察日・専門外来日を確認の上、お願い致します。
主治医の診察日以外の御紹介は、予め 御連絡下さい。

## 消化器科

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 消化管<br>胆・膵 | 初診 | ★ 美園俊明 | | | 美園俊明 | |
| | | | 吉永英希 | | | 吉永英希 |
| | | | | 隈元　亮 | 隈元　亮 | |
| | | | 美園俊明 | | 美園俊明 | |
| | 再診 | | | 吉永英希 | | 吉永英希 |
| | | 隈元　亮 | | | | |
| 胆・膵の検査 | | 吉永／隈元 | 吉永／隈元 | 吉永／隈元 | 吉永／隈元 | 吉永／隈元 |
| 胃内視鏡 | | 吉永英希 | 隈元　亮 | 美園俊明 | 吉永／隈元 | 佐藤拓史 |
| 胃・腸透視 | | | 久保園高明 | | | 美園俊明 |
| 大腸内視鏡 | | 吉永／隈元 | 久保園高明 | 吉永／隈元 | 吉永／隈元 | 佐藤拓史 |

※ 検査予約 及び お問い合わせは、午後14時から16時の間にお願い致します。

## 循環器科

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 初診 | | | ★ 李　相崎 | | | 李　相崎 |
| | | 小川正一 | | 小川正一 | | |
| | | 二宮雄一 | | | | 二宮雄一 |
| | | | 加治屋　崇 | | 加治屋　崇 | |
| | | | | 尾辻秀章 | | |
| | | | 薗田剛嗣 | | 薗田剛嗣 | |
| 再診 | | 李　相崎 | | | 李　相崎 | |
| | | | | | 小川正一 | |
| | | | 二宮雄一 | | | |
| | | | | | | 加治屋　崇 |
| | | | | | | 尾辻秀章 |
| | | | | 薗田剛嗣 | | |

※ 外来主治医制 ・ 再診は 日・時の予約制 をとっています。
※ 24時間救急体制 をとっています。
平日8時30分から17時までは循環器科外来へ、時間外は救急センターへ御連絡ください。

## 小児科

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 一般 | | ★ 鮫島幸二 | | | | |
| | | | 島子敦史 | | | |
| | | | | | | 渡邉健二 |
| | | | | 森田康子 | | |
| | | | | | 中川俊輔 | |
| 専門 | | 益田君教 | | 益田君教 | | |
| | | | | | 島子敦史 | |
| | | 四俣一幸 | | 四俣一幸 | | 四俣一幸 |
| | | | | 新小田雄一 | | 新小田雄一 |
| | | | | | | 川上　清 |
| | | | 檜作和子 | | | |
| | | | | | 立元千帆 | |

※ 初診の方は紹介制となっております。紹介状をご持参下さい。(再診の方は予約制になっております。)
※ 各専門分野は、初診・再診ともに予約制となっております。予め電話でご連絡ください。
専門分野　川上 清、新小田雄一:血液・悪性腫瘍 ／ 益田君教:循環器 ／ 島子敦史:循環器 ／
四俣一幸:神経・代謝 ／ 檜作和子:内分泌・代謝 ／ 立元千帆:アレルギー

## 整形外科・リウマチ科

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 初診 | | | | ★ 中村雅洋 | | 中村雅洋 |
| | | 泉　俊彦 | 泉　俊彦 | | | |
| | | 藤元祐介 | | | 藤元祐介 | |
| | | | | | 髙野　純 | 髙野　純 |
| | | | 徳本寛人 | 徳本寛人 | | |
| 再診 | | | 中村雅洋 | | | |
| | | | | | 泉　俊彦 | |
| | | | | 藤元祐介 | | |
| | | 髙野　純 | | | | |
| | | | | | | 徳本寛人 |

※ 小児整形は　初診：水・金曜日 、再診：火曜日　となっております。

## 外科・心臓血管外科

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 初診・再診 | 交替<br>(※1) | ★ 濵田信男<br>中村　登<br>槐島健太郎 | 交替<br>(※1) | 濵田信男<br>中村　登<br>吉川弘太 | 交替<br>(※1) |
| 血管外科 | | 峠　幸志 | | ★ 牛島　孝 | |
| 胸部外科 | | | | 横枕直哉<br>(午後のみ) | |
| 乳腺外科 | | | 金子朋代<br>(第2・4週のみ) | | |

※1　月・水・金曜日は手術日のため、濵田 ・中村 (登)・槐島 ・吉川 の 交替制となっております。
※2　ストーマ外来は、毎月 第1水曜日です。

## 形成外科

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 初診・再診 | ★ 森岡康祐 | | 森岡康祐 | | 森岡康祐 |
| | | 栗原幸司 | | 栗原幸司 | |
| | | | | | 浅見　崇 |
| | | | 亀井　航 | | |
| | 園田わかな | | | | |
| | | | | 中尾　崇 | |
| | 野元清子 | 野元清子 | | | |

## 脳神経外科

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 初診 | | ★ 平原一穂 | | | |
| | | | | | 山田正彦 |
| | | | | 石井　毅 | |
| | 西牟田洋介 | | | | |
| | | | 田中俊一 | | |
| | | | 川原　団 | | |
| 再診 | | | | 平原一穂 | |
| | | 友杉哲三(小児) | | | 友杉哲三 |
| | | | 山田正彦 | | |
| | | 石井　毅 | | | |
| | | | | | 西牟田洋介 |
| | 田中俊一 | | | | |
| | | | | 比嘉那優大 | |
| | | 川原　団 | | | |
| | | | | | (坂元健一) |
| 特殊外来 | 上津原甲一<br>(頭痛・てんかん) | 平原一穂(頭痛) | 上津原甲一<br>(頭痛・てんかん) | | 上津原甲一<br>(頭痛・てんかん) |

※ 初診担当医は手術のため変更になる場合があります。担当医の希望がある方は電話で事前に御問合せ下さい。
※ 特殊外来受診時は、事前に電話で御問合せ下さい。

## 小児外科

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 初診・再診 | | | ★ 野口啓幸<br>松久保　眞 | | 野口啓幸<br>松久保　眞 |

※ 急患以外は、出来るだけ 水曜日か金曜日にお願い致します。それ以外の曜日は、手術のため お待ち頂く場合があります。

## 皮膚科

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 初診・再診 | ★ 三好逸男<br>矢野祐子<br>玉井真理子 | 三好逸男 | 三好逸男 | 三好逸男<br>玉井真理子 | 三好逸男 |
| 専門検査<br>処　置 | アレルギー検査<br>生検・手術 | 生検 | アレルギー検査<br>生検・手術 | アレルギー検査<br>生検 | 生検 |
| 特殊治療 | | 黒～茶あざ<br>Qスイッチ<br>ルビーレーザー | | | 赤あざ |

※ 専門検査・処置・特殊治療は予約制となっております。
※ 学会等で主治医が不在の場合があります。事前に電話にてご確認下さい。
※ レーザー治療とパッチテストは、原則として6月～9月は実施しておりません。
※ 初診の方は紹介制となっております。医師の紹介状を持参のうえ、お越し下さい。

## 泌尿器科

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 初診・再診 | ★ 五反田丈徳<br>一美貴弘 | | 五反田丈徳<br>一美貴弘 | | 五反田丈徳<br>一美貴弘 |
| | | | | 松田良一郎 ※1 | |
| | | 古郷修一郎 ※1 | | | |
| | | | | 坂口　大 ※1 | |
| | | 萱島恒善 | | | |
| 透析 | 松田良一郎 | | 松田良一郎 | | 松田良一郎 |

※1 火・木曜日の外来診療担当医は、手術の都合により不定期となりますのでご了承ください。
※ 当科では入院患者様の透析加療を行っており、外来での通院維透析は行っておりませんのでご了承ください。
※ 小児泌尿器科は毎月第1週木曜日、14時～16時の予約制で行っております。
(都合により週が変更となる場合もございますので、事前にお問い合わせください)
※ 尿路ストーマ外来は毎月第3週木曜日、13時30分より予約制で行っております。

## 産科

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 初診 | 上塘正人 | | | 上塘正人 | |
| high risk外来 | | 前田隆嗣 | | | |
| | | | 谷口博子 | | |
| | 池畑奈美 | | | | |
| | | | | | 古郷有佳子 |
| low risk外来 | | | | 中村俊昭 | |
| | | 山本文子 | | | |
| | | | 川畑宜代 | | |
| | | | | | 冨永美沙 |

※ 救急症例以外は予約制となっております。緊急で外来受診の場合は、必ずお電話にてご一報ください。

## 婦人科

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 婦人科<br>初診 | ★ 波多江正紀 | | | 波多江正紀 | |
| | | | 中村俊昭 | | |
| | | | | | 山本文子 |
| | | 川畑宜代 | | | |
| 婦人科<br>再診 | | | 波多江正紀 | | |
| | | 上塘正人 | | | |
| | 中村俊昭 | | | | |
| | | | | 前田隆嗣 | |
| | | | 山本文子 | | |
| | | | | | 谷口博子 |
| | | | | | 池畑奈美 |
| | 川畑宜代 | | | | |
| | | 古郷有佳子 | | | |
| | | | | 蔵屋一枝 | |

※ 再診の方については予約優先となります。ご予約については平日14時から17時の間に婦人科外来へご連絡ください。
※ 初診の方につきましては、ご予約を承っておりません。ご了承ください。

## 眼科

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 午前<br>(初診・再診)<br>(※2) | ★ 上村昭典(※1)<br>中野哲郎<br>(北　葉月) | 手術<br>予約検査 | 中野哲郎(※1)<br>(北　葉月) | 手術<br>予約検査 | 上村昭典(※1) |
| | | (専門外来)<br>牧内玲子 | 尾辻　太(※1) | (専門外来)<br>牧内玲子 | 尾辻　太<br>吉永就正 |
| | 吉永就正 | | | | |
| 午後 | 予約検査・診察 | (手術) | 予約検査・診察 | (手術) | 予約検査・診察 |

※ (※1)は、紹介初診担当医師となっております。
※ 火・木曜日について　・手術日となっております。一般外来のご紹介は、月・水・金曜日にお願い致します。
(緊急疾患、黄斑変性外来へのご紹介については事前にお問い合わせください)
・専門外来として、黄斑変性外来および糖尿病網膜症外来を行っております。
※ (※2) 再診の方は完全予約制となっております。ご予約については平日15時から17時の間に眼科外来へご連絡ください。

## 耳鼻いんこう科

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 初診 | ※ 手術の為<br>一般外来休診 | (※2) | 花牟禮　豊<br>林　多聞<br>中島崇博<br>高木　実<br>(※1　交替制) | (※2) | 花牟禮　豊<br>林　多聞<br>中島崇博<br>高木　実<br>(※1　交替制) |
| 再診 | | 花牟禮　豊<br>林　多聞<br>中島崇博<br>高木　実 | | 花牟禮　豊<br>林　多聞<br>中島崇博<br>高木　実 | |
| 小児難聴<br>外　来 | 鹿島直子 (※3)<br>(午前中のみ/要予約) | | 鹿島直子 (※3)<br>(午前中のみ/要予約) | | |

※1 水・金曜日は手術日の為、初診は交代制となります。担当医の希望がある方は電話で事前に御問合せ下さい。
※2 火・木曜日は再診日です。初診のご紹介は水・金曜日にお願いいたします(急患についてはお問い合わせください)
※3 新生児スクリーニング二次検査を含めて、小児難聴外来を行っております。(要予約)
平日15時から17時の間に耳鼻科外来へご連絡頂き、紹介状持参のうえ受診をお願い致します。

## 放射線科

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 初診・再診 | ★ 内山典明<br>加治屋芳樹 | 内山典明<br>加治屋芳樹 | 内山典明<br>加治屋芳樹 | 内山典明<br>加治屋芳樹 | 内山典明<br>加治屋芳樹 |
| 透視検査 | 加治屋芳樹 | 内山典明 | 加治屋芳樹 | 内山典明 | 加治屋芳樹 |
| RI検査 | 内山典明 | 加治屋芳樹 | 内山典明 | 加治屋芳樹 | 内山典明 |
| 緩和ケア外来 | | | | 加治屋芳樹(※) | |

※ 緩和ケア外来は、毎週木曜日　14時から16時 (完全予約制　一人30分程度)となっております。

## 歯科口腔外科

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 初診・再診 | 午前 | ★ 上橋陸海<br>平原成浩 | 上橋陸海<br>平原成浩 | (手術) | 上橋陸海<br>平原成浩 | 上橋陸海<br>平原成浩 |
| | 午後 | (手術) | (障害児歯科) | | (障害児歯科) | (手術) |

※ 水曜日(終日)および、月曜日・金曜日午後は手術となっております。
※ 障害者(児)の全身麻酔下集中的歯科治療や、合併症を有する患者さんの歯科治療に関しての詳細は、
お問い合わせ下さい。
※ 不在の場合もありますので、ご紹介頂く際は確認をお願い致します。


**鹿児島市立病院**　〒892-8580　鹿児島市加治屋町20番17号
【電話代表 099-224-2101】【医療連携室　電話 099-216-3631　FAX 099-216-3632】


**※ 受付時間は原則として、平日の午前8時30分から午前11時までとなっております。**